通院されている施設

連携施設
（より詳しい検査や、治療方法の検討のためにご紹介することがあります）

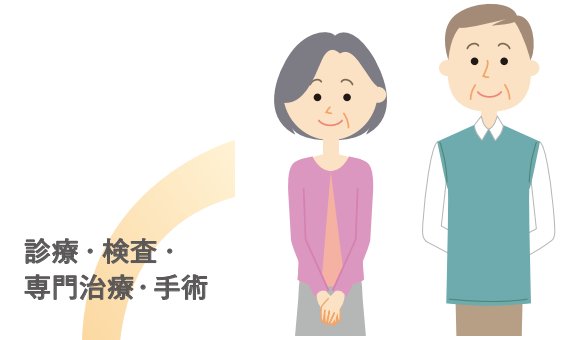
ユーシービージャパン株式会社

2020年11月作成
JP-P-DA-EPI-2000055

てんかん診療連携リーフレット vol.1

てんかんと診断されたら

監修：自治医科大学附属病院脳神経外科 教授　川合謙介 先生



診療・検査・
専門治療・手術

受診
通院～治癒

地域医療連携

専門施設

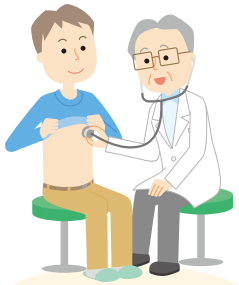


専門的な検査や
入院、治療、緊急時対応を
主に担当

紹介・逆紹介

診断・検査結果の
情報共有

かかりつけ医



初診診察や
安定した症状を主に担当

てんかんは、赤ちゃんから高齢者まで誰にでもおこります

てんかんとは、脳の多くの神経細胞に、いっせいにスイッチが入ってしまうことによって発作がおこる、脳の病気です。

発作は1回だけではなく、くりかえしおこります。

「てんかんは子どもの病気」と思っているかたも多いですが、てんかんは、赤ちゃんから高齢者まで、年齢・性別にかかわらず、誰にでもおこる可能性があります。

「てんかんは、ごくまれな病気」と思っているかたも多いですが、てんかんは約100人に1人にみられる一般的な病気です。

日本には100万人の患者さんがいるといわれます。



きちんと薬をのみつづけて、ふつうの生活をおくりましょう

てんかんのタイプによって、治りやすいものと治りにくいものがありますが、70～80%の人は、薬や外科治療によって発作を止めることができるといわれています。

薬で発作が止まっている人が、薬をやめられるまでの期間は、人それぞれです。だんだん薬を減らして、最後には薬を飲まなくてもよくなるタイプのてんかんもあれば、一生にわたって薬を飲み続けるタイプのてんかんもあります。

大切なことは、必要な期間は、しっかりと薬を飲み続けて、発作が止まっている状態を保つことです。そうして、これまで通り、ふつうの生活をおくりましょう。

もしも薬の副作用があるときには、がまんせずに主治医に相談して、あなたに合った薬に変更してもらいましょう。

